学校番号	T3017

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新編言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	「基本級別漢字」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、表現を適切に理解するだけでなく、自らの考えや意見を表現する活動を行います。
・小説などの物語を読んだり、古典に親しんだりします。日常では経験できない世界が広がっていますので、想像力を働かせて、世界観を味わってください。
・文章を理解するためには、漢字や言葉の知識は欠かせません。小中学校で習った言葉の復習や新しく習った言葉を積極的に習得してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、文章の表現を正しく理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高められるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、他者や社会と関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	詩の楽しみ ［教材］ 道程 小景異情 六月 詩の作成	a:詩の表現技法とその効果について理解する。 b[書]:さまざまな技法を用いて、自分の思いを表現している。 c:詩に興味をもち、詩のリズムや表現することの楽しさを味わおうとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート パフォーマンス課題
	小説を読む ［教材］ 羅生門	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[読]:小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 c:主人公の視点や観点を理解し、心情の変化を読み取ろうとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	古文入門 ［教材］ 古文に親しむ 児のそら寝 徒然草	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 c:恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	小説を読む ［教材］ よろこびの歌	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 c:恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。	ワークシート 振り返り問題 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	漢文入門 ［教材］ 訓読に親しむ 矛盾	a:作品の歴史的・文化的背景を理解する。訓読のきまりを理解する。 b[読]:作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c:故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	ワークシート 振り返り問題 定期考	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間